

お肉とサラダ、どちらが好き？

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-07-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 柴田, 玲奈, 齋藤, 肇 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2009273

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



お肉とサラダ、どちらが好き？

水産業システム研究センター

研究の背景・目的

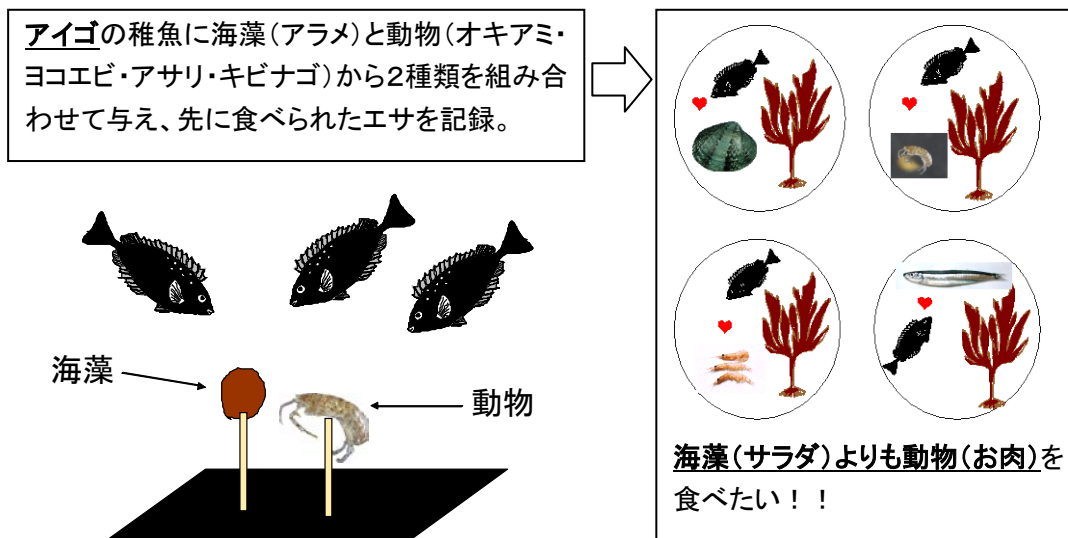
あたたかい海の磯では、アイゴなどの魚が海藻を大量に食べてしまうために、いろいろな魚のすみかである藻場が失われたと考えられています。本研究では、東北大学・東京海洋大学と協力し、アイゴが本当に好んで食べるエサが何であるかを知るために、アイゴの稚魚に海藻と動物性のエサを組み合わせさせて与える実験をしました。

研究成果

海藻(アラメ)と動物(オキアミ・ヨコエビ・アサリ・キビナゴ)の中から2種類のエサを組み合わせ、アイゴの稚魚に与え、アイゴがどちらから先に食べるか調べました。その結果、アイゴは植食性というよりはむしろ雑食性であり、海藻よりも動物を好み、特にオキアミやヨコエビを好んで食べることが明らかになりました。

波及効果

アイゴなど海藻を食べる魚が本当に好きなエサが何であるかをさらに詳しく知り、生態系を上手に管理することにより、ゆたかな藻場を回復させることができると期待されます。



(エネルギー・生物機能利用技術グループ: 柴田玲奈・
研究推進部: 齊藤 肇)